

「熊本県子供の読書活動推進計画(第四次肥後っ子いきいき読書プラン)」に係る

# 令和5年度(2023年度) 子供の読書活動アンケート調査の結果



第四次プラン期間の5年間(平成31年度～令和5年度)の調査校として、  
小学校11校、中学校11校、県立高校10校を抽出し、各学年1学級の児童・  
生徒を対象に実施。回答数:3,194人  
【小学校(11校):1,459人 中学校(11校):875人 高校(10校):860人】

# 子供の読書アンケート

## アンケートの質問内容

問1 本を読むことが好きですか。

→【興味・関心】

問2 1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。

→【読書率】

問3 読書をする場所はどこですか。

→【機会・場所】

問4 どのくらい読書をしますか。

→【頻度】

問5 読書をする理由はなんですか。

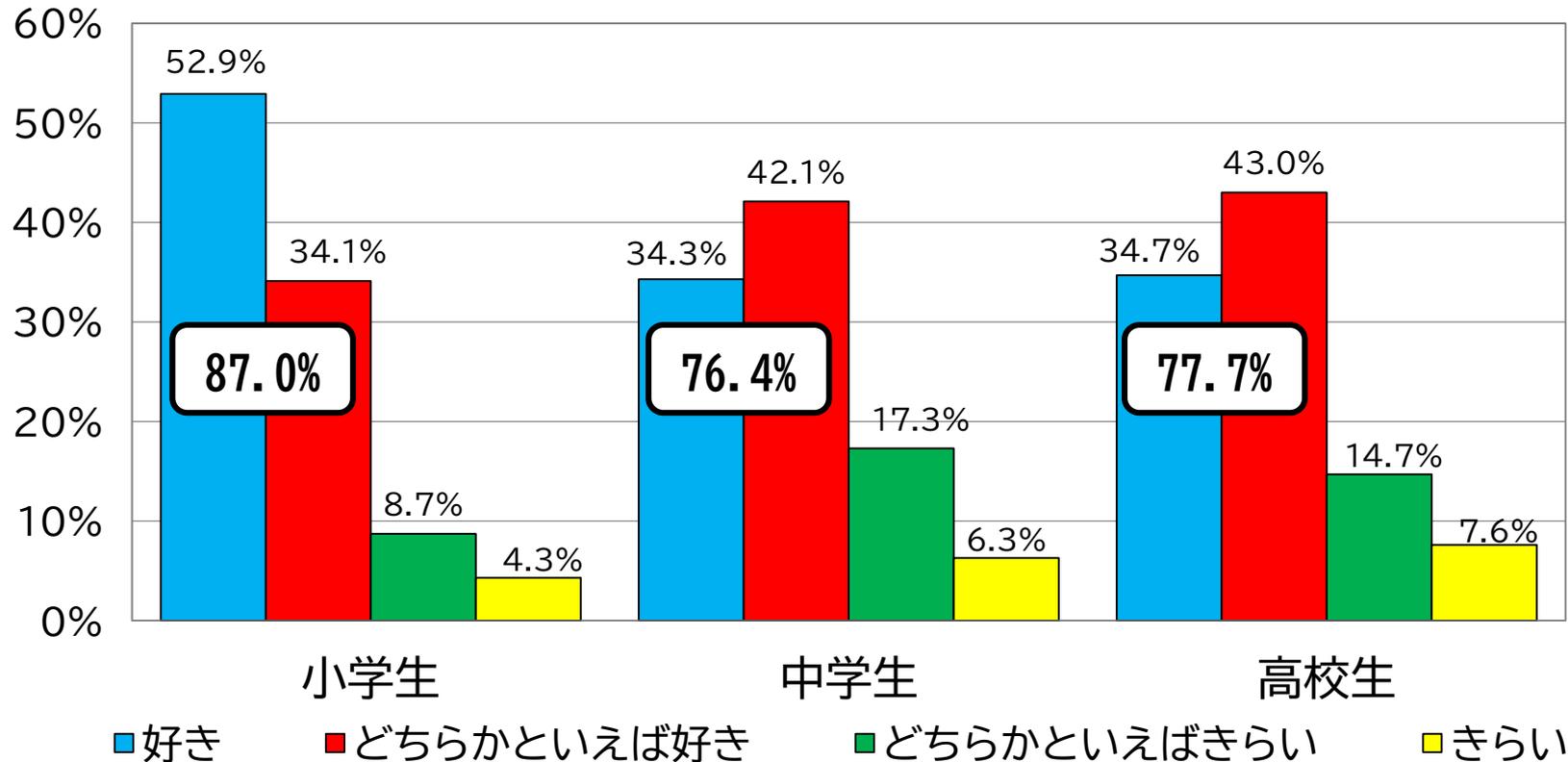
→【動機】

問6 電子書籍を読んだことがありますか。

→【ICT活用】

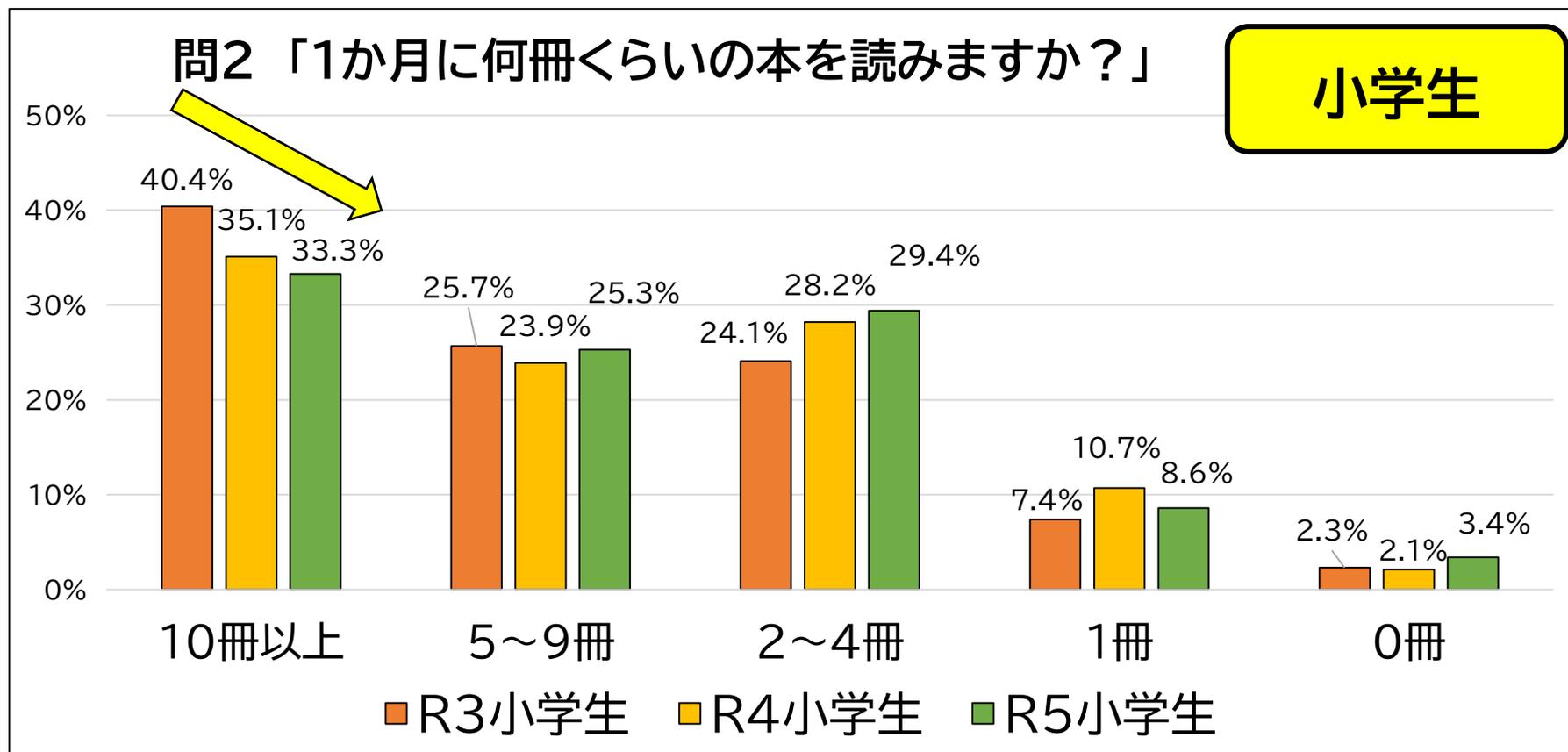
# 子供の読書アンケート

問1「本を読むことが好きですか？」



小学生では約85%以上、中学生と高校生では75%以上が「好き」と回答。  
「嫌い」という読書に関心が低い層も一定存在する。

# 子供の読書アンケート

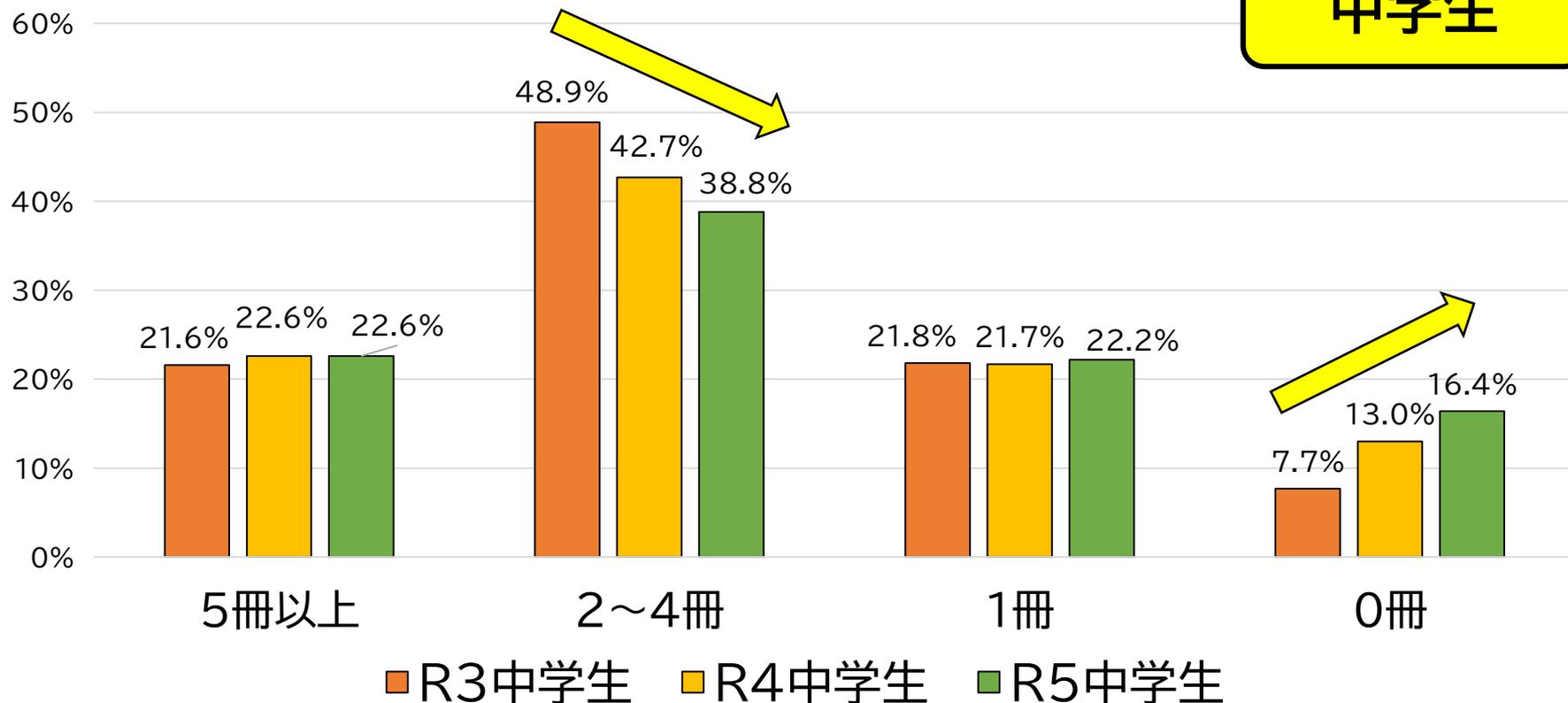


【令和5年度】1か月に1冊以上本を読む小学生の割合は96.6%  
1か月に10冊以上本を読む児童が減少傾向。

# 子供の読書アンケート

問2 「1か月に何冊くらいの本を読みますか？」

中学生

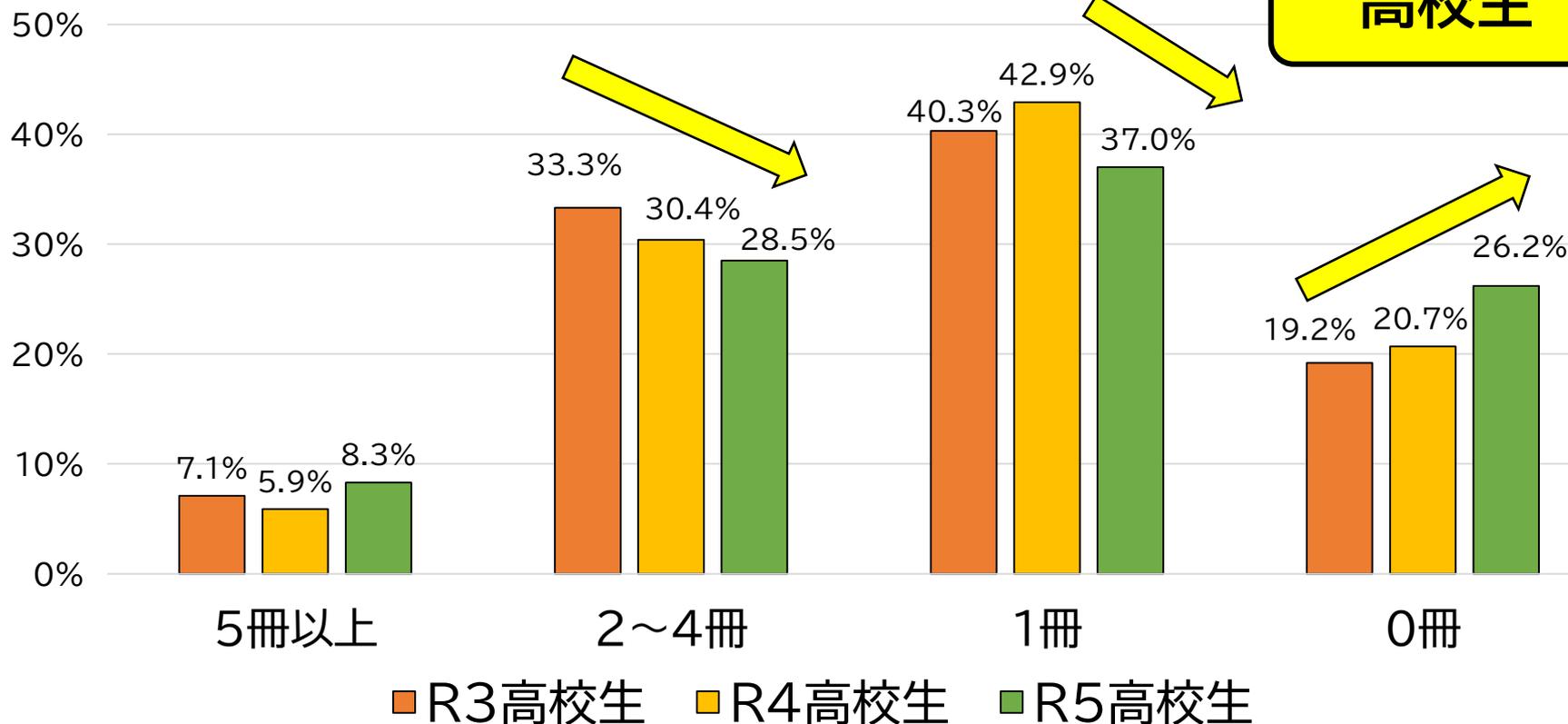


【令和5年度】1か月に1冊以上本を読む中学生の割合は83.6%  
1か月に2冊～4冊以上本を読む生徒が減少傾向、0冊の生徒は増加。

# 子供の読書アンケート

問2 「1か月に何冊くらいの本を読みますか？」

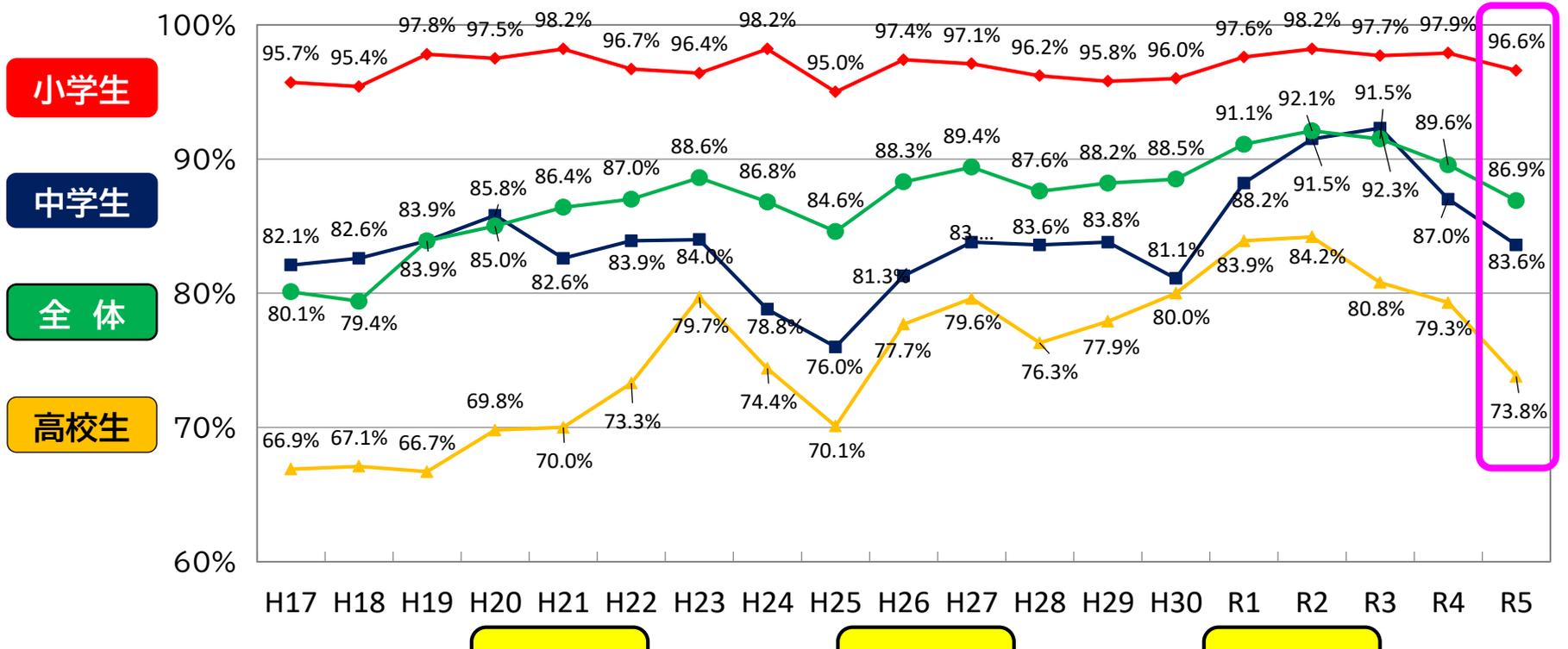
高校生



【令和5年度】1か月に1冊以上本を読む高校生の割合は73.8%  
1か月に1冊～4冊以上本を読む生徒が減少傾向、0冊の生徒は増加。

# 子供の読書アンケート

## 1ヶ月に1冊以上本を読む児童・生徒の推移



+3.6%

-3.3%

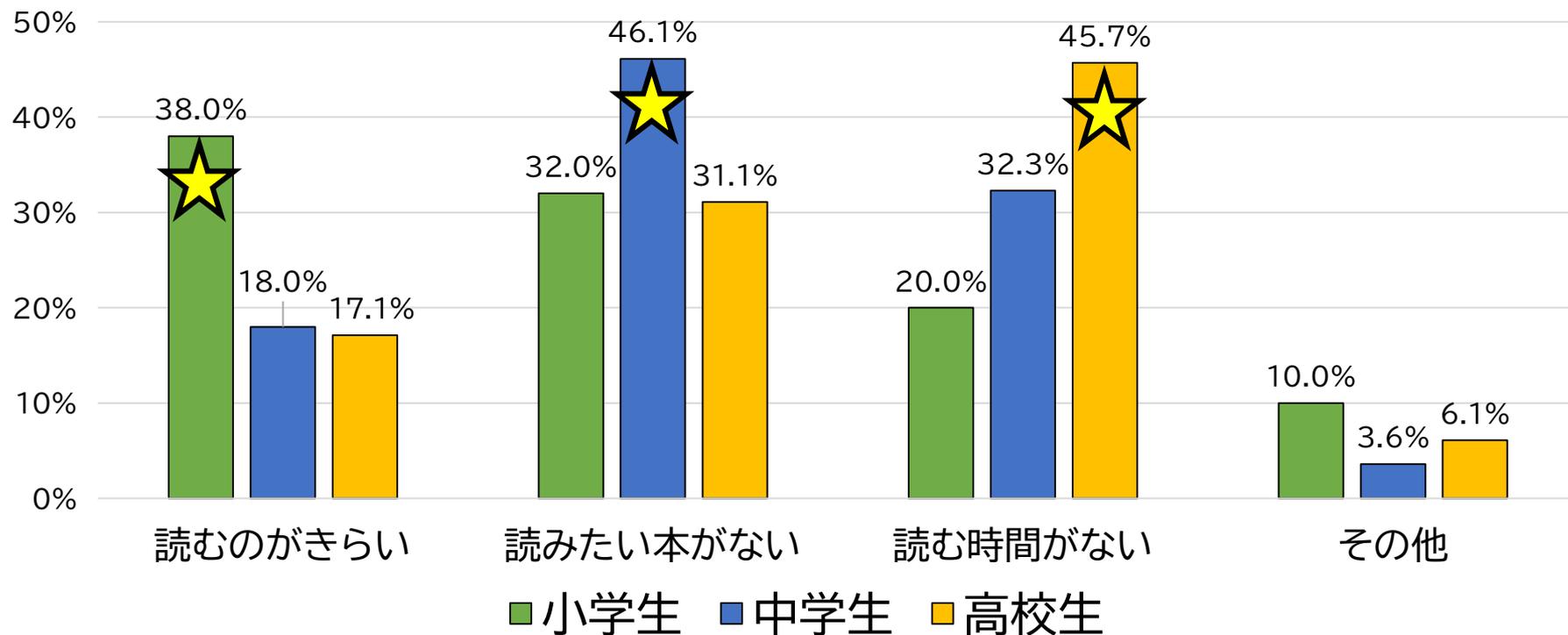
+17.3%

R5 熊本県 小学生96.6% 中学生83.6% 高校生73.8%

R5全国平均 小学生93.0% 中学生86.9% 高校生56.5%

# 子供の読書アンケート

## 「0冊」と回答した児童生徒の「本を読まない理由」

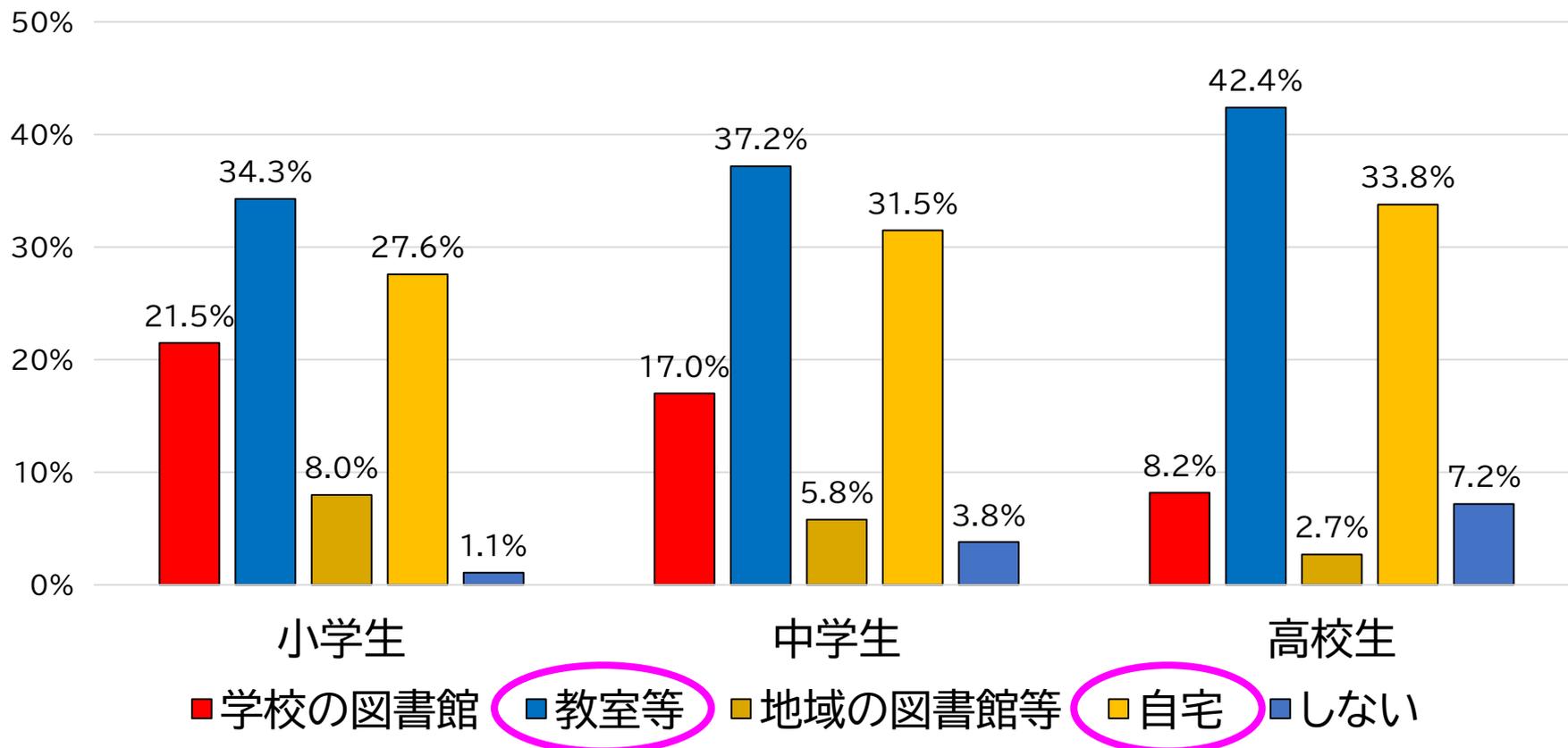


【R5】「0冊」と回答：小学生3.4% 中学生16.4% 高校生26.2%

小学生は「読むのがきらい」、中学生は「読みたい本がない」、高校生は「読む時間がない」と、発達段階によって理由が異なる。

# 子供の読書アンケート

## 問3 「読書をする場所はどこですか？」



全校種で「教室等」の回答が最も多く、次に「自宅」という回答。

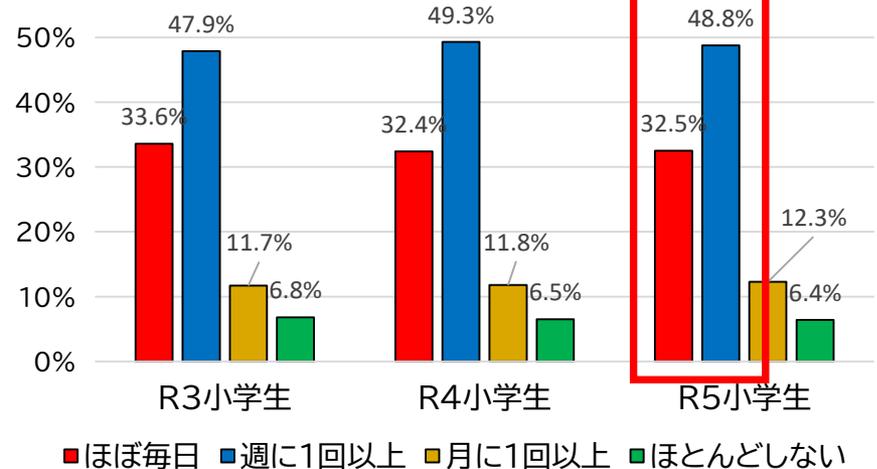
# 子供の読書アンケート

## 問4

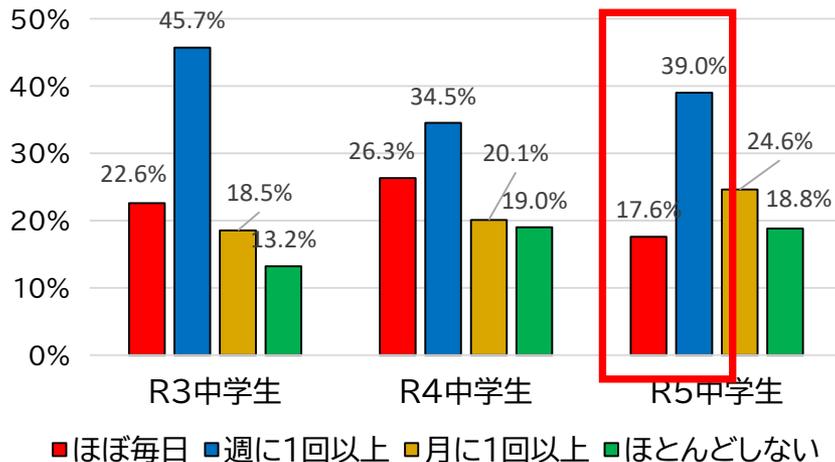
「どのくらい読書をしますか？」

「ほぼ毎日」「週に1回以上」  
読書をしている回答の割合  
は、小学生が最も高く、次に高  
校生、中学生の順。

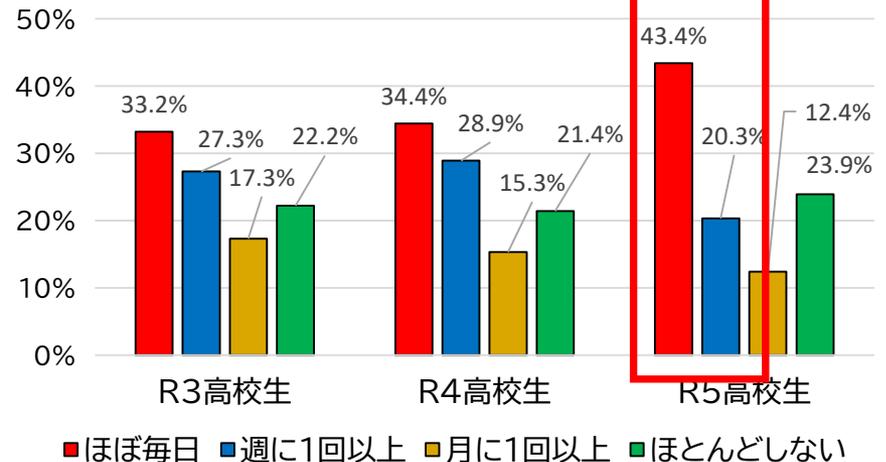
### 【小学生】



### 【中学生】

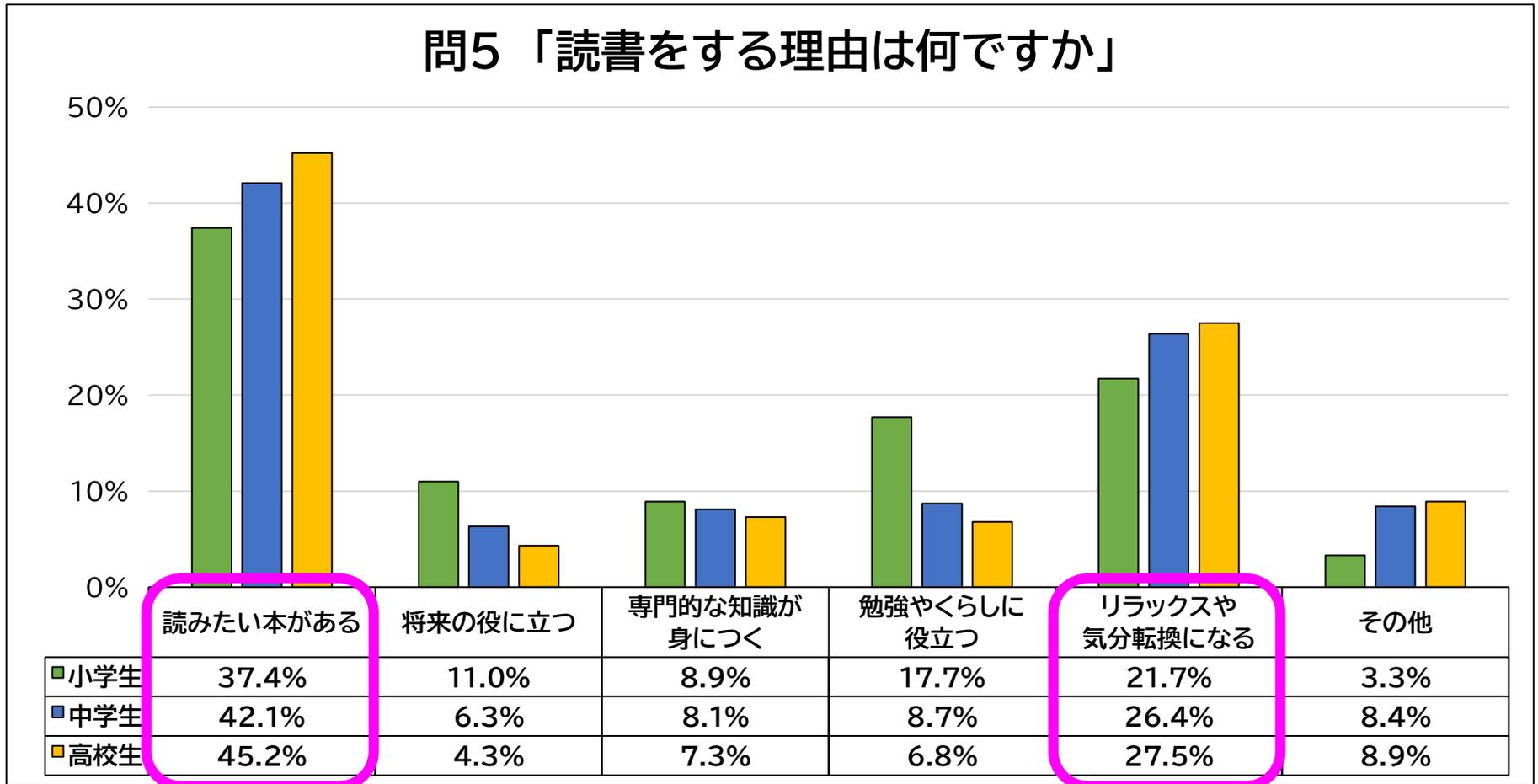


### 【高校生】



# 子供の読書アンケート

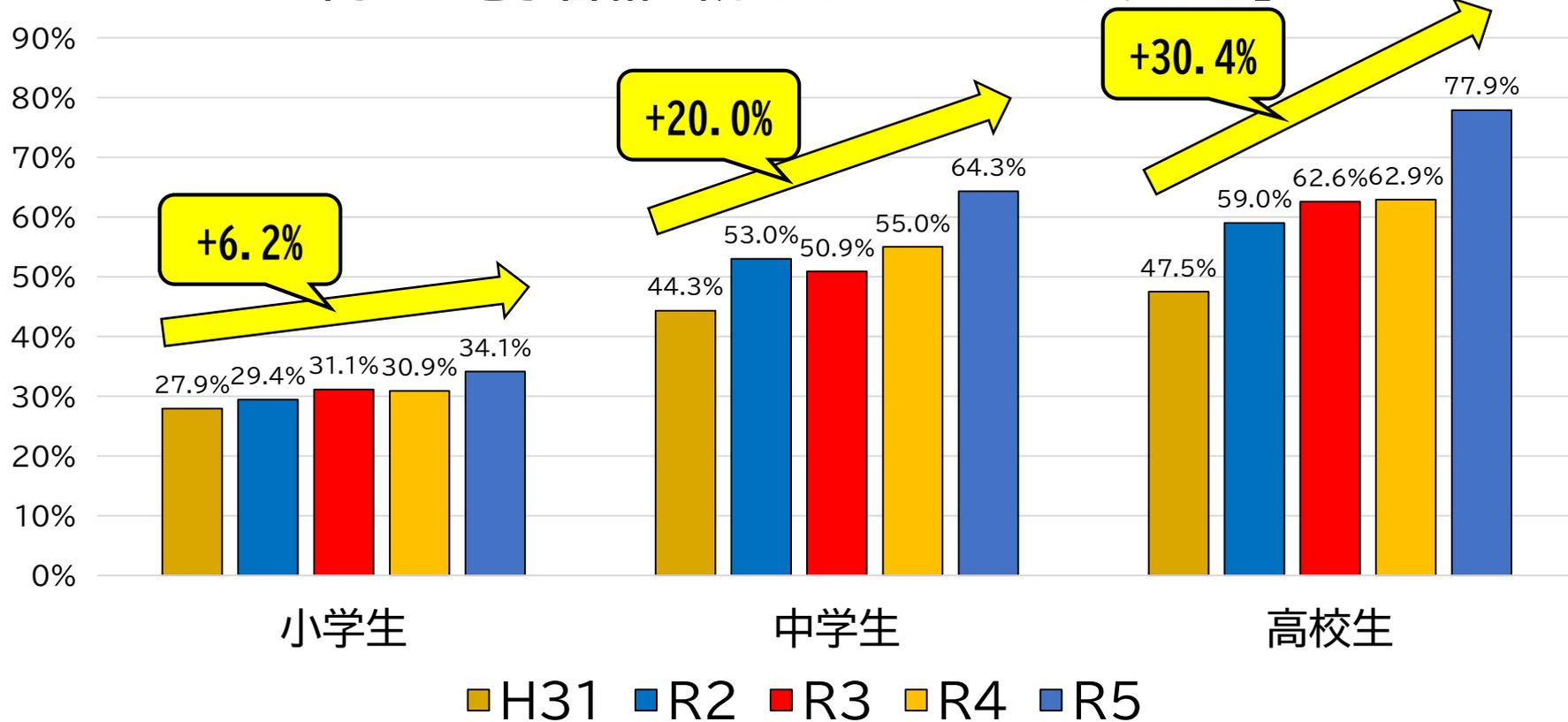
## 問5 「読書をする理由は何ですか」



全校種とも「読みたい本がある」が読書をする理由として最も多く、次いで「リラックスや気分転換になる」が多い。

# 子供の読書アンケート

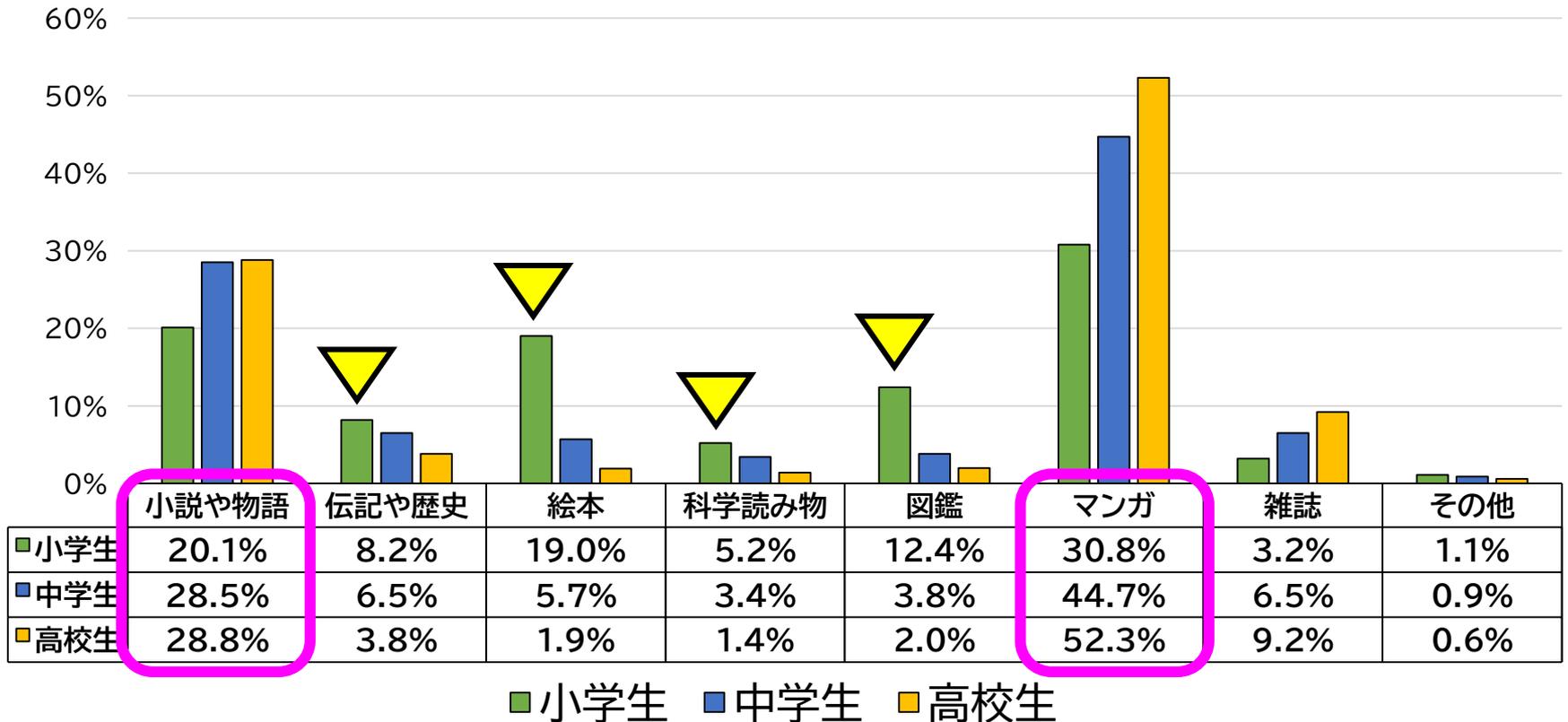
問6 「電子書籍を読んだことがありますか？」



H31～R5の5年間で全校種の「電子書籍を読んだことがある」と回答した割合が増加。高校生の約75%以上が「電子書籍を読んだことがある」と回答。

# 子供の読書アンケート

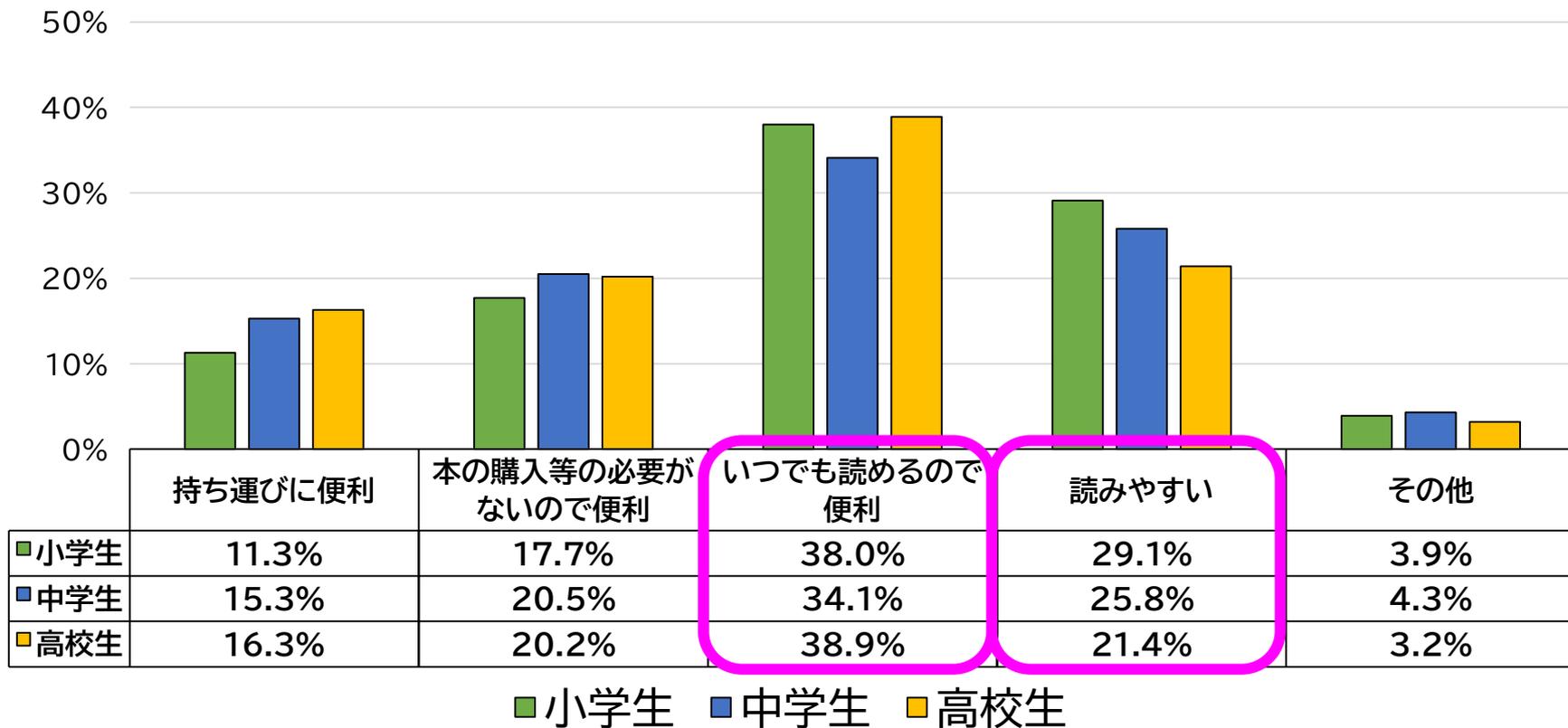
## 児童生徒が読んだ「電子書籍の種類」



全校種で最も多く読まれているのが「マンガ」、次いで「小説や物語」。小学生は「絵本」や「図鑑」など比較的多くの種類を読んでいる。

# 子供の読書アンケート

## 電子書籍を読んだ児童生徒の感想



全校種で「いつでも読めるので便利」という感想が最も多く、次いで「読みやすい」という感想が多い。校種による大きな差はあまりない。

# 令和5年度 子供の読書アンケートのまとめ

- ① 全校種で75%以上が、「本を読むことが好き」
- ② 1か月に1冊も本を読まない児童生徒が増加
- ③ 児童生徒の「本を読まない理由」は、発達段階で異なる
- ④ 小学生、高校生の「読書率」は、全国平均を上回る
- ⑤ 「読書をする場所」は、全校種で「教室」と「自宅」が多い
- ⑥ 「読書頻度」は、小学生が最も高く、次に高校生、中学生の順
- ⑦ 全校種で「読みたい本がある」が、読書をする一番の理由
- ⑧ H31～R5の5年間で全校種の電子書籍の利用が増加
- ⑨ 電子書籍で多く読まれているのは「マンガ」、次いで「小説や物語」
- ⑩ 電子書籍利用の感想は「いつでも読めるので便利」が多い